



学校だより

< 学校教育目標 >

ちえと おぼいと おもいやり

2024年1月31日（水） No.11

3学期始業式 校長講話

新しい年をむかえたので、新年の挨拶をしましょう。

「あけまして おめでとうございます」 まずは最初に、新年の能登半島地震、航空機事故に関わる方々にお見舞いを申し上げます。

その中で、訓練を生かした災害避難について話題になっていました。本校でも事故・火事・ケガなく健康で安全にこの3学期を過ごしていきましょう。



さて、2024年、令和6年が始まりました。たつ年です。「龍」にちなんだお話を三つ紹介します。龍のお話がいくつも図書館があると小山先生に教えてもらいました。

最初は、その本の一つです。

「龍の子太郎」(松谷みよ子作)

このお話は、信州の伝説をもとに作られたお話です。

龍の子太郎は、北の湖に住むというお母さんをたずねて、自ら長く苦しい旅に出ます。様々な昔話もそうですが、龍の子太郎は、「人は大切な目的のため（自分だけでなく自分以外の人のため）に、たくましく行動するとき、その人も救われて幸せになる」という、昔からの考え方や生き方を伝えてくれているように思います。

二つ目は、お正月には縁起のよい魚の鯉を食べた人もいるかもしれませんが、鯉と龍は関係があると聞いたことありますか。

「龍門」(りゅうもん)

昔、中国の龍門山を切り開いてできたすごい急流がありました。

鯉が登ってきて、その険しい流れを負けずに泳いで登ったものは、龍になって天に登ると言われました。ここから、こどもの日には、「龍門を苦しくともなほれる子どもに育ててほしい」という願いで、鯉のぼりを立てるのだそうです。

三つ目は、「画竜点睛」(がりょうてんせい) というお話です。

昔、張という名前の有名な絵描きさんが、お寺の壁に竜の絵を描いたのだそうです。完成した竜の絵は見事で今にも動き出しそうな竜で見る人すべてが息をのみましたが、眼だけが描い

てありませんでした

「どうして眼を描かないのですか」と尋ねると、「竜は目をかき入れると、天へ登って行ってしまふよ。」と言ったそうです。しかしその言葉を信じない人々が瞳を描いてほしいと頼むと、ゆっくり筆をとり竜の眼を描いて完成させましたが、そのとたん稲妻が走り、壁の中の竜は天に昇って行ってしまったというのです。

大切なところに手を入れて仕上げる、最後の仕上げが大事というお話です。

画竜点睛の「睛」は、動物のひとみという意味だそうですが、人間の瞳は、子どもの目とかきましますね。皆さんの目が大事です。三学期は、自分の心の竜に大事な仕上げの眼を入れて、次の学年に登っていかれるようにしたいですね。

そして、いよいよ西内小150年の締めくくりに向かいます。

「ありがとう西内小学校『自ら前進』」西内小で学ぶことができる47日間。西内小150年のアンカーを皆でしっかり務めましょう。アンカーの役目として、やることは3つ。

- ① 150年間私たちを育ててくれた西内小学校と支えてくださった全ての方に「感謝」をする。
- ② 一日一日を大切に過ごし、学校の大事な仕上げの眼を丁寧に入れて「有終の美」を飾る。
- ③ 丸子中央小学校、丸子中学校へ「西内の学びとよさ」を広げていく。

新しいスタートにつなぐのが、アンカーの役目です。みんなで頑張りましょう。

自身も何かに挑戦を。「150」にちなんで、体育館を150周走ろうと思います。くじけないようにみんなにもご協力してもらって達成したいと思います。

スキー教室がありました(1/12)

ブランシュたかやまスキー場で、最後のスキー教室を行いました。この日は天候にも恵まれて、子ども達は4つのグループに分かれて楽しみました。

各グループには、インストラクターの先生がついてくださり、楽しくわかりやすく教えてもらいました。午前と午後の講習でだいぶ上手になりました。お昼のカレーも格別だったようです。



これからも、寒さに負けずにウィンタースポーツを楽しんでいきます。

美しい音色が心に響きました(1/24)

チェリストの宮田大さんとピアニストの山中惇史さんをお招きしてクラスコンサートが行われました。はじめに宮田さんから、音楽の楽しみ方の一つとして、「映像をイメージして聴くことの大切さ」のお話をいただきました。子どもたちは、目を閉じて、曲のイメージを膨らませながら、宮田さんの美しい音色を聴いていました。その後も山中さんがピアノに関するクイズを出してくれたり、宮田さんがチェロの音が床に響いていく感覚を体験させてくれたりと、見て、聴いて、感じる音楽体験ができました。

CDやテレビの音ではない、その場で感じる音楽の力を改めて実感した1時間でした。

窯たき、無事に終了しました(1/26~28)

窯たきのご協力、ありがとうございました。おかげさまで、西内小学校最後の窯たきを事故やけがもなく無事に終わることができました。保護者の皆様、地域の皆様3日間にわたり、献身的にお力添えをいただき、本当にありがとうございました。なお、窯出しを2月5日に予定しております。最後の最後まで気を抜くことなく作業を進めて参ります。

～写真でふり返ります!～



【窯入れ 一つ一つの作品を慎重に運び上げました 1/19】



【無事に窯入れ終了ひと安心】



【手がかじかむ中、がんばって泥で窯の隙間をふさぎました 1/19】



【火入れ式 1/23】



【バーナーで窯の温め 1/25】



【夜を徹しての窯たき当番 1/26~28】



【今年も鬼火が上がりました】



【窯の火を止め、入口をレンガと泥で塞ぎ、煙突にフタをしました。そして、学校長より御礼 1/28 朝】

～お知らせ1～

登り窯作品展 2/7～2/22

- 会場：理科室（児童、保護者の作品）
第3学習室（地域の方々の作品）
- 時間：9：00～16：30（土日祝除く）
- その他：



- ・入口は職員玄関もしくは、理科室、第3学習室の外からの出入口をご利用ください。
- ・各部屋の入口に来室者名簿がおいてありますので、お名前の記入をお願いいたします。
- ・今年は作品数が多いため、部屋を2つに分けて展示してあります。また、児童玄関には、全校で制作した閉校記念陶芸作品と統合記念陶芸作品も展示してあります。ぜひ、ご覧ください。

～お知らせ2～

2月21日（水）に学習発表会をセレスホールで行います。日程等につきましては、おたより、回覧でお知らせしたとおりですが、当日の発表内容は以下のようになります。これまでの学習の成果や年間通して学んできた米作りや登り窯、金管バンド等の発表を計画しております。ぜひ、この機会に子ども達のがんばりの姿をご覧いただくと幸いです。

ご多用な折とは存じますが、ご来場をお待ちしております。

【発表内容】 <前半の部> 13：30～14：15

プログラム	発表内容
1 2年生の発表	生活科で学習した「大きくなったぼく・わたし」について発表します。
2 登り窯チーム	1年間の活動の取組を発表します。
3 地域自然チーム	1年間の活動の取組を発表します。
4 大縄 8の字跳びに挑戦	大縄 8の字跳び150回に挑戦します。タイムにも挑戦します。 目標は4分30秒！応援、よろしくお願いします。

<休憩> 14：15～14：25

<後半の部> 14：25～15：00

5 金管の発表	「笑点」、「スモーク オン ザ ウォーター」、「宝島」、
6 合唱	「鎌倉殿の13人のメインテーマ」、「聖者の行進」の演奏をします。 会場の皆さんも一緒にお願いします。

2月の予定

5日(月) 窯出し	14日(水) 4年中央小と合同社会見学
6日(火) 2, 5年中央小との交流	16日(金) 学校運営委員会 西内クラブ
7日(水)～登り窯作品展(～22日)	20日(火) 5年青少年ネットワーク
9日(金) メディアコントロール週間(～16日)	21日(水) 学習発表会(授業参観)
10日(土) 小学校管楽器フェス東日本大会	PTA総会・学年学級PTA
13日(火) 最終児童会・児童総会	22日(木) PTA慰労会